

北中だより

校訓：自主 明朗 協同

南島原市立北有馬中学校
令和5年1月10日発行
文責：校長 上田 敏浩

明けましておめでとうございます

新年明けましておめでとうございます。年末年始はいかがだったでしょうか。今年もよろしくお願いたします。

さて、今日は始業式でしたが、感染対策としてリモートでの実施としました。そこでは、次のような内容の話をしました。

今年一年、どんな年にしたいと考えましたか。また、それを実現するために、何をしますか。自分の目標を飾りにせず、実現していきましょう。

三学期は、一年間のまとめの学期です。これまでのことを振り返り、次に生かすことを心がけていきましょう。

三年生の皆さんは、自分が望む進路の実現に向けて、全力で取り組みましょう。力いっぱい応援します。また、卒業式では、中学校生活の集大成を見せてほしいと思います。また、三年後は成人を迎えます。自分の考えや行動を見つめてみましょう。

一・二年生の皆さんは、どんな上級生になりたいですか。ここに見本となる上級生がいます。先輩のいいところを見習って、北有馬中学校の良さを、さらに高めていきましょう。

また、授業や家庭学習のあり方を見直し、自分から気づいて行動することで、自分の力を伸ばしていきましょう。

最後に、みつはしちかこさんの「今日はきのうの続きだけれど」という詩を読んで、始業の言葉としました。

また、各学年の代表者が、次のような内容で、三学期の目標を発表しました。(概要です)

一年 濱崎 陽葵さん

一年生最後の学期として、頑張りたいことが三つあります。

一つ目は、あたりまえのことをあたりまえにできる学級にすることです。

二年生のゼロ学期として、ワンストップ挨拶を行う、忘れ物をしない、提出物をしっかり出すなど、全員があたりまえにできるようにしたいです。

二つ目は、自分で考え自ら行動することです。四月からは先輩になります。指示を待つのではなく、率先して動けるように心がけ、成長できる学期にしたいです。私は学級委員として、一人ひとりに声をかけサポートして引っ張ります。クラスをまとめ、みんなが輝けるクラスにしていきたいです。

三つ目は部活動です。来期は自分たちが部の中心になるので、自ら行動に移せるように頑張りたいです。自分がそして学級が成長できる三学期にしたいです。



二年 宮田 志温さん(代読：寺田 史也さん)

二年生は、三学期に頑張らなければならないことが、二つあります。

一つ目は、提出物を提出日までに出すことです。しなければならないことは、したくなくてもしなければなりません。まもなく三年生になるので、計画的に学習に取り組み、提出期限を守ることができるようになります。

二つ目は、返事・反応です。今まで、返事の声が小さくて、注意を受けることがありました。三学期は、はじめから大きな声で返事や反応をするようにします。四月からは、様々な行事でリーダーシップを発揮していかなければなりません。その準備の学期である事を常に意識し、行動していきたいです。日々成長し、後輩から信頼される先輩になることを目標に、みんなで協力して頑張っていきます。



令和5年元旦

三年 伊藤 結真さん（代読：中村 花さん）

三学期は、高校受験があります。全員が笑顔で卒業式を迎えられるようにしたいと思います。そのためのテーマが三つあります。

一つ目は、凡事徹底です。細かなことですが、期日を守る、環境を整えることは大切で信頼にかかわります。皆で声をかけあって、良い習慣にしていきたいです。

二つ目は、率先して行動することです。これまでは、気心の知れた友達で、誰かがフォローしてくれました。高校に進学したら、誰かの後ろに続いて動くのではなく、勇気を持って率先して行動していくことを実践したいです。

三つ目は、自分自身のことで、意思表示です。今回、学級委員に立候補し、皆が承認してくれました。学級全体を見て気づいたことに意思表示をして、すばやく対処したいです。三学期は、一日一日の過ごし方が重要です。入試に向けて、二十五人一丸となって学習や面接練習等をしていきたいです。生徒会全体で創りあげてきたものをしっかり引き継ぎ、卒業までの日々を大事に過ごしていきます。



学校アンケートへのご協力、ありがとうございました

学校アンケートへのご協力、ありがとうございました。全般的に一学期に比べ、平均値が上がっていることを、嬉しく思います。これもひとえに、日頃からのご家庭でのご指導と、学校への温かいご支援の賜と深く感謝いたします。三学期もどうぞよろしくお願いいたします。

評価項目	NO	評価内容	評価（平均）	
			1学期	2学期
教育活動	1	学校は、どのようなことに力を入れているか分かりやすく伝えている。	2.9	3.1
	2	学校は、学校便りや学級通信等で学校の様子を知らせている。	3.3	3.4
	3	教師は、子どもをよく理解し、きちんと対応している。	3.1	3.2
	4	教師は、必要に応じて保護者と連絡をとっている。	3.1	3.3
教育環境	5	学校は、清掃が行き届き、きれいである。	3.2	3.4
開かれた学校	6	私は、PTA活動によく参加している。	3.3	3.2
	7	学校は、学校公開や保護者と連携した行事などに、よく取り組んでいる。	3.2	3.4
生徒活動	8	我が子は、友達関係もよく楽しく登校している。	3.4	3.5
	9	我が子は、誰にでも明るくはつらつとしたあいさつをしている。	3.2	3.2
	10	我が子は、頭髪や服装などのきまりを守っている。	3.4	3.5
	11	我が子は、部活動に意欲的に取り組んでいる。	3.6	3.6
その他	12	家庭では、しつけや基本的な生活習慣に注意している。	3.2	3.3
	13	我が子は、家庭学習によく取り組んでいる。	3.0	2.9

ひとつこと ふたこと

正月に箱根駅伝をご覧になった方は、多いのではないかと思います。結果を残して選ばれた20の大学（学校としての参加はかなわなかった「学生連合」チームもありました）。その中でさらに選ばれた10人の選手たちの懸命に走る姿は、胸を熱くしました。実況中に、「最初で最後の箱根駅伝」という言葉を何度も聞きました。その裏側には、最後まで選ばれず、控えや応援にまわったであろう選手もいるものと思います。様々な人の思いを託してつなぐ。私たちの日々の営みもまた、「駅伝」なのかもしれません。